

ワイヤレスブロードバンド実現のための周波数確保等に関する意見

再意見提出者	株式会社テレビ大分
--------	-----------

意見項目	意見内容
(1) ワイヤレスブロードバンドの今後の展望	
(2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題	
(3) 関連する国内外の動向と課題	
(4) その他、将来のワイヤレスブロードバンドによるサービスやシステムに関する事項	

NO	意見提出者	寄せられた意見に対する意見内容
	800MHzFPUを他の周波数へ移行すべきとの意見に対して	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の場合、複雑な地形に加え道路標識や歩道橋など電波をさえぎるものが多いため、ロードレース等の中継では見通し外でも伝送できる800MHz帯FPUは不可欠である。 ・ (見通し外伝送が不可能な) 1GHz帯以上の周波数では障害物等の影響で映像が途切れてスムーズな伝送ができない。このため、映像のフリーズを頻繁に発生させる原因となり、結果として視聴者に対して大きなストレスを与える可能性がある。 ・ 海外のロードレース中継では画面がフリーズすることが当然のようにしばしば発生しているが、日本国内の中継ではこれがほとんどない。これは、800MHz帯のFPUを使用していることも大きく影響していると思われる。 ・ ホワイトスペースへの移行については、数十kmにわたるロードレース等の送受信環境で空き周波数を確保することは困難である。特に高い位置に設置する受信機へのTV波の飛込みが伝送の妨害となる。
	ラジオマイクはホワイトスペースに移行するとの意見に対して	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制作や報道の取材は県内にはとどまらず、北海道から沖縄まで広く全国に及んでいる。ホワイトスペースの領域は地域によって全く異なるため、ラジオマイクに割り当てるホワイトスペースはかなり冗長性を持たざるを得ない。結果として、ラジオマイクを広帯域化が必要となる。

		<ul style="list-style-type: none">・ また、TV波はエリア外からも飛んできており、現実問題として、取材先で混信妨害の無いチャンネルを確保することは困難であると思われる。